

5 今年度の重点課題(学校アクションプラン)

令和4年度 石動高等学校アクションプラン - 1 -	
重点項目	学習活動(生徒の学習意欲の喚起と基礎学力の伸長及びICT活用)
重点課題	<p>①②日常の授業において、新型コロナウイルス感染症を予防しつつ「主体的・対話的で深い学び」を実践するため、さらには家庭における学習や探究を促進するために、ICT機器等を積極的に利用し、生徒の学びに向かう意欲を喚起する</p> <p>③検定合格に向けて主体的に学習に取り組む能力を育成する</p>
現 状	<p>①②昨年度後半から進めているタブレットと教育用クラウドサービスの活用により、すべての生徒・教員がこれらを使いながら授業を行える環境が整った。しかし、家庭での活用は不十分であり、不適切に使用している生徒も少なからず存在する。そこで、教員にはアクティブ・ラーニングを取り入れた授業改善やその際の教育クラウドサービスの活用実践を進めること、生徒には自分の家庭学習の実態を自覚させ、積極的に学習や探究活動に取り組ませることの方策を講じていきたい。</p> <p>③商業科の生徒はそれぞれの目標を持って、主体的・意欲的に検定取得に取り組んでいる。検定に合格するためには、高校に入ってから学ぶ商業科目の基礎をしっかりと身に付けた上で、それぞれの検定に合わせて自らの力を向上させていく必要がある。授業においても、生徒の学力を伸ばし、検定取得につながるように、常に効果的な指導を模索し工夫していくことが求められる。検定取得が生徒の学ぶ意欲や進路目標の達成にも繋がっている。</p>
達成目標	<p>①「主体的・対話的で深い学び」の授業に取り組んだ教員の割合</p> <p>②家庭学習でタブレット及び教育用クラウドサービスを利用した回数</p>
	<p>③商業科：卒業までに全商主催検定9種目中、3種目以上で1級を取得した生徒数</p> <p>(1)簿記 (2)ビジネス文書 (3)ビジネス情報 (4)プログラミング (5)商業経済 (6)珠算 (7)電卓 (8)英語 (9)会計実務</p>
	<p>①100% ②週あたり3回以上</p> <p>10人以上(卒業年度)</p>
方 策	<ul style="list-style-type: none"> ・互見授業を行い、アクティブ・ラーニングの実践やタブレット等を用いた授業の積極的な実施と意見交換を促す。 ・生徒に効率よく家庭学習を行うアイテムとしてタブレットや教育用クラウドサービスの積極的な利用を促す。 ・朝や放課後の補習授業を実施する。 ・商業関連部活動を充実させる。 ・3年生1級未取得者に対する特別受験指導を実施する。 ・教員の指導力向上のための校内研修会を充実させるとともに、校外で開催されるセミナー等へ積極的に参加するよう努める。

(評価基準 A:達成した B:ほぼ達成した C:現状維持 D:現状より悪くなった)

重点項目	学校生活（心身ともに健全な人格の育成）
重点課題	規範意識の向上と規律正しい学校生活の確立
現 状	<ul style="list-style-type: none"> ・スマートフォンの普及に伴い、使用ルールやマナーを守らない生徒やネット依存症の生徒も見られる。 ・ネットパトロールからの情報提供を受けて指導した生徒は、平成30年度は10名、令和元年度は9名と急増したが令和2年度は3名、令和3年度は1名と減少した。 ・携帯電話やパソコンに関するアンケート結果より、平日3時間以上使用している生徒は、令和2年度は38.7%、令和3年度は33.2%で、長時間使用が生活のリズムを崩し、家庭学習時間や睡眠時間の確保の妨げになっている。また、ネット依存チェックの調査結果では、全校生徒の48%は生活に何らかの悪影響が出ている状況、4人の生徒は重大な問題があると診断評価されている。 ・生徒が自ら「学校ネットルール4箇条」を決定し、学校ネット実行委員会からも遵守を働きかけているが、3箇条以上遵守している生徒は87.2%、4箇条遵守している生徒は24.4%と低い。特に「No スマホ時間（帰宅後2時間以上）を作ろう」というルールが遵守できない生徒が多い。ネット利用に関する自己管理ができない生徒や規範意識の低い生徒が多いのが現状である。 ・不規則な生活習慣により不調を訴える生徒がいるため、基本的な生活習慣を確立できるように心身の健康について主体的に考え、判断し、行動する態度の育成が必要である。
達成目標	<p>①学校ネットルール4箇条を遵守できる者の割合 80%以上</p> <p>②生活習慣にかかわる広報活動を各学期に1回以上行う</p>
方 策	<ul style="list-style-type: none"> ・携帯電話やパソコンに関するアンケート、ネット依存チェックで実態を把握し、イレブンセブン運動やネットルール4箇条の遵守を積極的に推進することで長時間の使用を控えさせ、ネット依存にならないよう指導を行う。 ・情報モラルやセキュリティの意識向上を図るために授業以外にも学習する機会を増やすとともに、教職員が携帯電話に関する知識を深める機会を設けて、生徒への指導を充実させる。 ・家庭でスマートフォンの使用について話し合う機会を持つなど、PTA総会や各学期の保護者会等で保護者に協力を要請する。 ・クラスごとにルールや達成目標を決めるなど、生徒が問題意識をもって主体的に活動できるよう環境を整える。 ・生徒保健委員会で生活習慣について知りたいことを話し合い、調査・研究を行う。

(評価基準 A：達成した B：ほぼ達成した C：現状維持 D：現状より悪くなった)

令和4年度 石動高等学校アクションプラン - 3 -

重点項目	進路支援（自己実現に向けて生徒自らが努力するための支援の充実）
重点課題	進路意識の向上と生徒への情報提供や面談の充実
現 状	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の生徒の進路選択とその実現のために本校独自の様々な進路支援プログラムを行い、オープンキャンパスや見学会などへの参加を呼びかけている。しかし、コロナ禍においてオープンキャンパスが軒並み中止になったりする中で、自らの興味・関心に合わせて実際にオープンキャンパスや説明会に参加する動きが少なくなっている。 ・早期に具体的な進路目標を決められない生徒がおり、進路実現に向けた学習への取りかかりが遅い生徒もいる。
達成目標	①1・2年生：オープンキャンパスや学校見学会、校外の研修会などへの参加回数（WEB 実施を含む） 年1回以上 ②3年生：進路支援の満足度 4段階評価による3以上が90%以上
方 策	<ul style="list-style-type: none"> ・進路支援プログラムの内容や実施方法を充実させ、進路意識の高揚を図る。 ・オープンキャンパスや学校見学会の情報を生徒にわかりやすく提供し、休業中の課題にするなどして参加を促す。 ・面談等を通して生徒の興味関心や学習状況を把握し、学校見学会参加の呼びかけや学習に対するアドバイスなどを行う。 ・教員が積極的に進路に関する情報収集と情報共有を行い、個別指導と全体指導をうまく組み合わせながら、学習指導、進路指導を効果的に行う。

（評価基準 A：達成した B：ほぼ達成した C：現状維持 D：現状より悪くなった）

令和4年度 石動高等学校アクションプラン - 4 -

重点項目	特別活動（学校行事を通して自主的な態度の育成）
重点課題	特別活動に対する主体的参加
現 状	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事である体育大会や球技大会では、生徒達は意欲的に取り組む姿が見られ、これらの集団活動や体験的な活動を通して、豊かな学校生活を築きながら自主性や連帯意識を育んでいる。 ・本校部活動数は運動部13、文化部10あり、部活動加入率は運動部約63%、文化部約29%、全体で約92%と、多くの生徒が部活動に参加している。
達成目標	①学校行事（体育大会、球技大会）に対する充実度 5段階評価による4以上が70%以上 ②部活動に対しての充実度や結果に対する満足度 5段階評価による4以上が70%以上
方 策	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒会活動を充実させ、代議員会等の適宜開催するなどして、生徒の視点から参画させることで、多くの生徒が主体的に関われる活動の機会を設ける。 ・部活動登録後、全体計画や活動内容等について、顧問と部員との話し合いを行いながら、個人や集団の実態に応じた目標を持たせ、活動を行う。 ・学校行事や高体連並びに高文連主催の各種大会等後にアンケートを実施し、その結果を踏まえ、今後の活動に検討・改善を行う。

（評価基準 A：達成した B：ほぼ達成した C：現状維持 D：現状より悪くなった）